

ライトアジア (LIGHT ASIA) 2023の開催について

- 本市が進める魅力ある夜間景観の普及・啓発事業の一つとして、国際的な照明デザイナーと地域の大学生が協働で、アイデアを出し合いながら夜間景観の演出を行う「LIGHT ASIA (主催:NPO法人ライトアジア)」という事業を、水前寺地区で開催予定。
- 開催時期は、ジェーンズ邸のオープンや水前寺こいあかりの開催時期と合わせて、令和5年8月29日(火)～9月3日(日)の間で実施予定。
- 今回は、水前寺地区の下記の予定地を対象に、海外の著名な照明デザイナー3名 (フランス、イタリア、アメリカで活躍) を講師として、県内の建築・土木・芸術学部等の大学生 (約30名程度) と共に夜間景観の演出に取り組む予定。
- 本事業を通じて、水前寺地区の魅力ある地域資源を活かした夜間景観の創出に寄与するとともに、同時開催のイベント等と連携した各種広報等を通じて、更なる地域活性化や夜間景観意識醸成につなげてまいりたい。

今回のライトアップ予定地



ライトアジア (LIGHT ASIA) の概要

- 主催団体であるNPO法人ライトアジアとは、アジア各国を対象に、著名な照明デザイナーを講師として開催地に派遣し、夜間景観の演出を通じた地域の大学生との学びの場を設けることによって、学生の人材育成等を目的として取り組む団体である。
- 2013年から開催されており、これまでにアジア5都市 (日本・韓国・中国・タイ) で開催
- 日本の事務局は、(株)松下美紀照明設計事務所の松下美紀※氏 (熊本市出身)
※過去に銀座駅リニューアル、旧福岡県公会堂貴賓館、小倉城、JR博多駅前広場等の照明デザインを手がけた著名照明デザイナー



夜間景観実証実験 (ライトスケープ・キャラバン) の実施状況について

- 「熊本市光のマスタープラン(R3.3月策定)」に基づき、R3年度から実施している、市民協働で魅力ある夜間景観の形成に取り組む「夜間景観実証実験 (ライトスケープ・キャラバン)」については、R4年度は計8件を実施。
- R5年度も引き続き、市内各地にて地域のまちづくり活動に合わせた照明演出を支援すると同時に、夜間景観づくりのノウハウ等も提供しながら、地域や民間主体の持続的な取組を促していく。

〈R4年12月～R5年3月までの実績〉

- 【12月3日(土)】：錦ケ丘公園 (地域の防災クラブとコミセン共催のクリスマスイベントに合わせて、公園内の樹木等をライトアップ)
- 【12月3日～4日(土日)】：石神八幡宮・カトリック島崎教会 (商店会主催の「ライトアップコンサート」に合わせて、神社や教会をライトアップ)
- 【3月25日(土)】：本妙寺仁王門 (「本妙寺桜灯籠」に合わせて、仁王門や浄池廟などをライトアップ)
- 【3月26日(日)】：明八橋 (「五感散歩」実証実験に合わせて、明八橋の桜や西村邸 (国の登録有形文化財) をライトアップ)

